

1 優先取組課題(マテリアリティ)

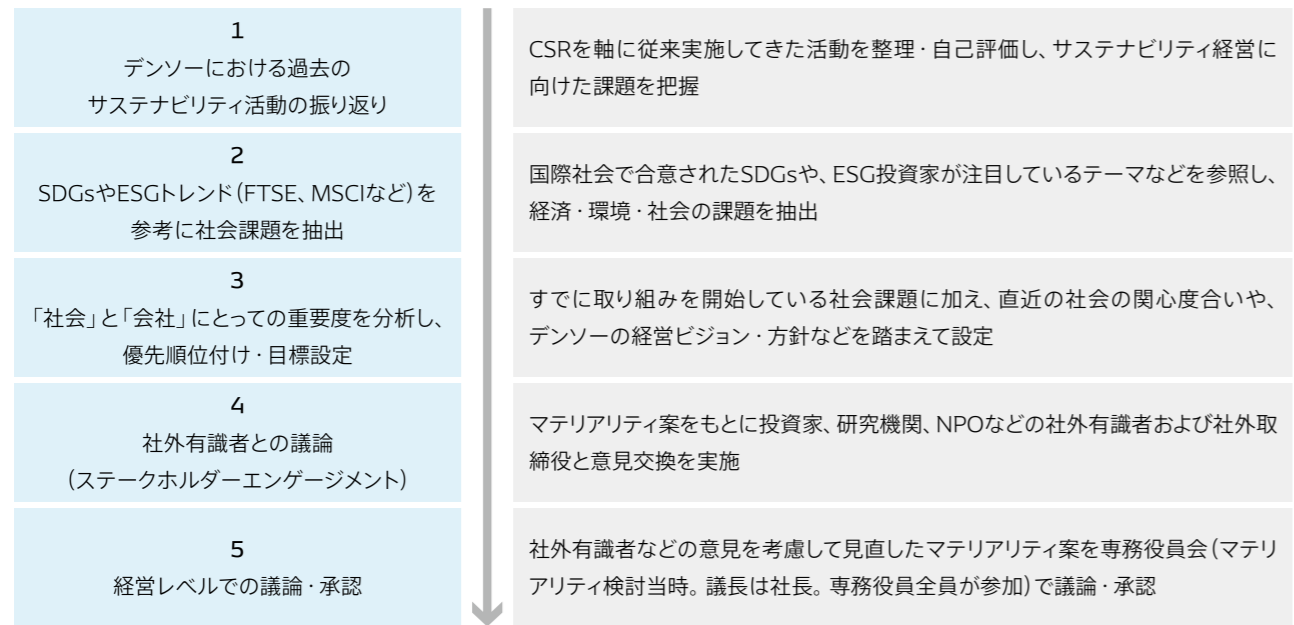
デンソーでは2030年長期ビジョン達成のために優先取組課題(マテリアリティ)を選定し、サステナビリティ経営の推進を加速することで課題解決を図っています。事業環境認識で想定した社会予測やSDGsを含む様々な社会課題の中から、持続可能な社会実現のために、重要度が高くデンソーが特に貢献できる分野として「環境」「安心」「企業基盤」の3つを掲げています。各分野の優先取組課題(マテリアリティ)を全社で共有し、それぞれの目指す姿と具体的な目標値であるKPIを設定しました。事業活動を通じてこれらの目標を達成することで、2030年長期ビジョンの実現と社会課題の解決に取り組めます。

マテリアリティ

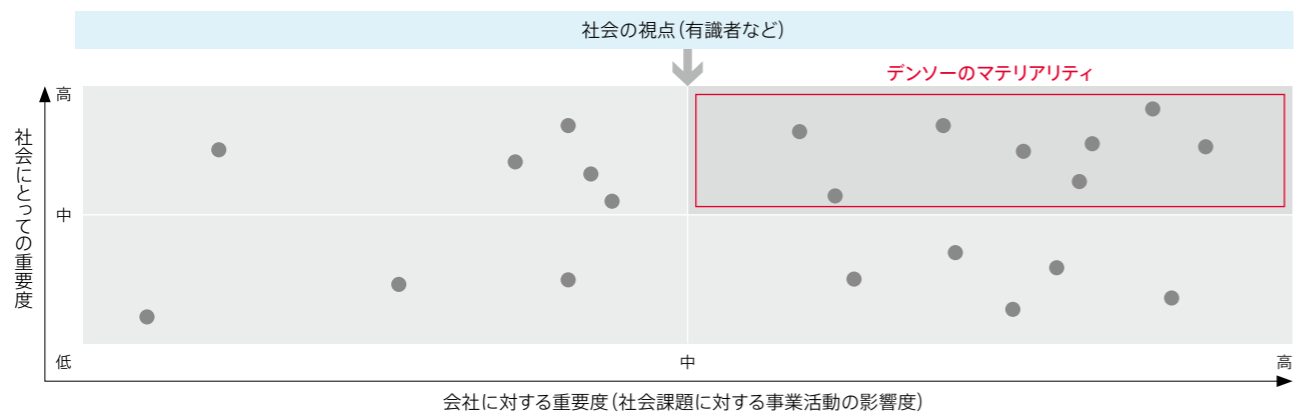
社会に存在する様々な課題の中から、デンソーが2030年長期ビジョンにおいて宣言した3つの領域「環境」「安心」「共感」において、デンソーが優先して取り組むべき重要課題(マテリアリティ)を選定しました。

マテリアリティ選定プロセス

社会課題それぞれについて、社会にとっての重要度、経営上の重要度を評価し、第三者からのご意見、アドバイスなどをいただきながら、経営レベルでの承認プロセスを経てマテリアリティを選定しています。



社会課題のプロット



マテリアリティのKPI

抽出されたマテリアリティにそれぞれKPIを設定し、会社目標に組み込み、経営審議会・取締役会でフォロー・審議しています。また、一部のKPIについては、その達成度評価を役員報酬の算定指標としています。□P104-106

優先取組課題(マテリアリティ)	目指す姿	KPI(2022年度)	KPI(2025年度)	関連するSDGs	
環境	地球温暖化防止◎	環境負荷の低減と高効率な移動を実現し、地球にやさしく持続可能な社会づくりに貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> 工場CO₂総排出量削減 2020年度比 ▲25% ※ クレジット活用含む 電動化領域製品の普及 売上 7,600億円 	<ul style="list-style-type: none"> 工場CO₂総排出量削減 2020年度比 ▲100% (省エネ、電力のカーボンニュートラル、ガスはクレジット活用でカーボンニュートラル実現) 電動化領域製品の普及 売上 1兆円 	
	大気汚染防止／環境負荷物質低減◎	<ul style="list-style-type: none"> 工場から排出されるCO₂をゼロにします。 クルマの電動化に貢献し、CO₂を可能な限り削減します。 CO₂を回収・貯蔵・再利用する技術によって、社会全体のカーボンニュートラルに貢献します。 			
	資源有効利用◎	<ul style="list-style-type: none"> 環境負荷物質や排出物・廃棄物を削減し、地球環境の永続的な維持に貢献します。 			
	水資源の保全				
安心	交通事故低減◎	「交通事故死者ゼロ」の実現に向け、安全製品の普及を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> 安全製品の普及 ADAS売上 4,280億円 	<ul style="list-style-type: none"> 安全製品の普及 ADAS売上 5,000億円 	
	自由快適な移動の提供◎	<ul style="list-style-type: none"> 安心な空気環境のニーズに応え、快適な空間を提供します。 			
	安心・安全な製品提供◎	<ul style="list-style-type: none"> 労働人口減少に伴う課題への解決に貢献する技術提供により、働く人を支援します。 			
	少子高齢化への対応◎	<ul style="list-style-type: none"> お客様に信頼され、ご満足いただける安心・安全で高品質な製品を提供します。 			
企業基盤	コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> 各国・地域の法令順守はもちろん社員一人ひとりが高い倫理観を持って公正・誠実に行動します。 “つながる社会”における情報セキュリティ上のリスクに備え、安全で信頼性の高い製品をお客様へお届けするとともに、情報資産の保護に最善を尽くします。 	<ul style="list-style-type: none"> 重大法令違反 0件 	<ul style="list-style-type: none"> 重大法令違反 0件 	
	情報セキュリティ強化◎		<ul style="list-style-type: none"> 重大事件 0件 	<ul style="list-style-type: none"> 重大事件 0件 	
	人財活躍推進	<ul style="list-style-type: none"> 社員一人ひとりが能力を最大限に発揮し、健康でいきいきと安心して働くことができるように“ヒトづくり”、“組織づくり”、“環境づくり”を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 海外拠点長における現地人財 20人 女性管理職人数【(株)デンソー】 事技系145人、技能系145人 	<ul style="list-style-type: none"> 海外拠点長における現地人財 20人以上 女性管理職人数【(株)デンソー】 事技系200人、技能系200人 	
	健康／労働安全衛生	<ul style="list-style-type: none"> 社員をはじめサプライチェーンなどを含むすべてのステークホルダーの人権を尊重した事業活動を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 社員の生活習慣スコア*1【(株)デンソー】 77点 安全点*2 (株)デンソー:50.0点、国内グループ会社:36.0点、海外グループ会社:48.5点 	<ul style="list-style-type: none"> 社員の生活習慣スコア*1【(株)デンソー】 77点以上 安全点*2 左記に加えさらなる改善を織り込んだ目標を検討中 	
	働き方改革／働きがい向上	<ul style="list-style-type: none"> サプライヤーとともに、環境問題、人権問題、コンプライアンスなどに配慮した事業活動を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークエンゲージメント肯定 回答率【(株)デンソー】 72% 	<ul style="list-style-type: none"> ワークエンゲージメント肯定 回答率【(株)デンソー】 78% 	
	人権の保護 持続可能な調達		<ul style="list-style-type: none"> 新入社員、新任マネジメント職への人権研修【(株)デンソー】 100% 	<ul style="list-style-type: none"> 左記に加えさらなる目標を検討中 	
	ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> 社会動向や外部環境変化、デンソーの企業風土などを踏まえ、必要に応じてより実効性のあるガバナンス体制へ進化させ、上記マテリアリティの目標達成を支えています。 			

◎ 製品・サービスを通じて貢献する目標

*1. 生活習慣スコア: 個々人の生活習慣の実践状況を健診データより点数化したオリジナル指標
*2. 安全点: 災害の大きさや種類に応じてリスクを点数化した指標。低いほど良好